

2007.2

三多摩山スキークラブ 会報

2月号 166



八甲田（箒場コース）にて



立山（雷鳥荘）



立山（大日岳を背景に）

2007年2月10日 発行

三多摩山スキークラブ

会長 川上 邦夫

〒180-0013 武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel& Fax 042-253-7289

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

立山初滑り報告

山 域 立山雷鳥沢・山崎カール・一の越

日 程 2006,11,23(木)~26(日)

(写真 二階堂耕司)



八甲田深雪滑降報告書

写真 大川 淳

日 程 2007年1月25日(木)～28日(日)

宿 泊 酸ヶ湯温泉



目次

写真報告		
立山初滑り	-----	2
八甲田深雪滑降	-----	3
目次	-----	4
今月の表紙	-----	4
インフォメーション	-----	5
例会、運営委員会、リーダー会、スキー協行事等		
行事案内	-----	6
乗鞍岳 / 富士山 / 乙妻山 / 守門岳 / 八甲田山 / 他		
行事報告	-----	10
立山初滑り / 12月かぐらスキー / 八甲田深雪滑降		
近況報告	-----	14
例会・運営委員会報告	-----	16
スキー協関係	-----	17
編集後記	-----	17
行事案内 / 申込書 (3月以降)		
富士山	-----	18
乗鞍岳	-----	19
乙妻山	-----	20
八甲田山	-----	20
守門岳	-----	21

今月の表紙

立山初滑りと、スキー協加盟山スキー関連クラブ合同で開催された八甲田第一弾である。

立山 ローソク岩下 2800m付近から滑ることにした。立山の最高峰大汝山や御山の頂上下 200m 位である。どこまでも続く紺碧の空、純白の峰々、はるか遠くに富山湾が横たわり、これが11月下旬の立山とは思えない。大パノラマを十分堪能したら、いよいよパウダーの大滑降だ。初滑りでこんな贅沢

はそうは無いと思う。

先頭は三宅さん、5年前からテレマークにはまっているという。続いて吉原、横山、堀内、二階堂の順でそれぞれ思いの円弧を描く。

八甲田 箒場平コースへ、大斜面が広がっている。我々7名の独り占め状態での深雪の斜面。ビデオと写真を撮りながら、深雪滑降をエンジョイする。中腹で大休止。

林間は先頭が重い雪のラッセルで大変であった。2時過ぎにバスの待つ箒場平に到着。

インフォメーション

例会

2月例会

日時 2月14日(水) 午後7時00分～

場所 国分寺労政会館(042-323-8511)

主要内容 応急救護(心肺蘇生法を主に)(国分寺消防署)

			主要内容		
3月	14日	(水)	午後19時30分～	読図	長部
4月	11日	(水)	午後19時30分～	気象・雪崩	陶山
5月	9日	(水)	午後19時30分～	G P S	杉山
6月	13日	(水)	午後19時30分～		
運営委員会					
2月	28日	(水)	午後19時30分～		国分寺労政会館 (042-323-8511)
リーダー会					

三多摩等行事予定					
3月	17日～ 18日		乗鞍岳	案内参照	陶山
	17日 (18日)		富士山	案内参照	天気により18日に変更も 高畠
	24日～ 25日		神楽・中尾根		勝亦
	24日～ 25日		乙妻山	案内参照	堀内
	31日～ 4月1日		守門岳	案内参照	長部
4月	13日～ 15日		八甲田山	案内参照	堀内

スキー協関係				問合せ先	
1月	21日～ 22日	山スキー 入門教室	かぐら・みつまた	基礎滑降、登高など、スキー場自然のままの雪山を楽しむ	東京スキー協 03-971-4144
2月	24日～ 25日	山スキー 入門教室	湯の丸高原 長野	シール着脱・登高、樹林滑降など山スキーのエッセンスが豊富	東京スキー協 03-971-4144
3月	17日～ 18日	山スキー 入門教室	梅池高原 長野	梅池自然園へ、シール登高1時間で天狗原。白馬連峰をバックに	東京スキー協 03-971-4144
4月	7日～ 8日	山スキー 入門教室	くぐら・みつまた	基礎滑降、登高など、スキー場自然のままの雪山を楽しむ	東京スキー協 03-971-4144

行事案内

2月の行事

野沢温泉（ゲレンデ&山スキー）は、クラブ員15名が参加しました。昨年同様、ゲレンデで滑降練習し、ぶな林で有名な鍋倉山へツアー行ってきました。今年は、全員山頂まで行きぶな林を滑り、楽しむことができました。春のような陽気で...、（報告は、来月です）

16(金)～17(土)	4日	オグナ武尊	近藤	夜行(16日発)日帰り
16(金)～19(月)	4日	八甲田	長部	スキー協山スキークラブ合同
18(日)～21(水)	4日	八甲田	矢口	スキー協山スキークラブ合同

3月の行事

ゲレンデから山へ。本格的な山スキーのシーズン到来です。春山は、天気恵まれれば楽しい山行が見込めます。しかし今年は雪が少なく。

「日本全国の山谷も積雪量の少なさからブッシュや小枝による障害物や笹藪の上に載った雪が抜ける、気温が高いため早い時期からのモナカ雪やアイスバーンの発生などオフピステが非常に危険な状況にある」（東京スキー協山スキー委員会の委員発言から）すでに一部では怪我の報告も出ています。安全な山スキーを心がけましょう。

17(土)～18(日)	2日	乗鞍岳	陶山	案内
17(土)(18(日))	1日	富士山	高島	天候により18日に/案内
18(土)～19(日)	2日	神楽・中尾根	勝亦	
25(土)～26(日)	2日	乙妻山	堀内	案内
31(土)～1(日)	2日	守門岳(大岳)	長部	案内

4月の行事

今年は、雪がどこまで持つのか、何年か前、5月連休、鳥海から、岩木山、八甲田へと回ったとき岩木、八甲田は、滑れる状況ではありませんでした。今年は、4月が...

7(土)～8(日)	2日	金山沢(白馬岳)	笹木	
13(金)～15(日)	3日	八甲田山	堀内	案内
14(土)～15(日)	2日	シッケイ沢(谷川岳)	勝亦	
28(土)～30(月)	3日	至仏山	未定	

三多摩山スキークラブ 会山行

オグナ武尊スキー場・前武尊

オクナスキー場から前武尊山迄 登ります。そこから沢に入ってすべります。深雪を楽しめるとおもいます。でもこの季節自然は厳しいです。

スケジュール(詳細は、会報1月号をご覧ください)

2007 八甲田山スキー

参加申込みは締め切りました。(詳細は、会報1月号をご覧ください)

乗鞍岳

詳細は



今年から3月オープンの位原小屋に1泊してのんびり山スキーを行います

【期 日】 2007年3月17日(土)~18日(日) 土曜発 山小屋泊まり

【集 合】 2007/3/17 西国分寺 朝7時 集合

【行動予定】 17日 集合場所より中央高速を経由して乗鞍高原温泉スキー場へ、スキー場のリフト終点(2時間)から位ヶ原、位原小屋へ

18日 位原小屋より(1時間40分)肩の小屋へ登り、肩の小屋(滑降40分)、位ヶ原(滑降40分)

乗鞍高原温泉スキー場へ下るコース。 * 気象条件がよければ乗鞍岳へ

山小屋は2食付きです。布団もあります。位原小屋管理人 六辻(ムツジ)さん 090-9001-7362

天候が思わしくない場合や、雪崩の危険性が高い場合は無理をしません

車は陶山車(ステップワゴン)他に乗車になります。

申し込みは

陶山まで 連絡先 042-366-2287(FAX 兼) 090-1817-1432

Mail: N0294893@aol.com

締め切り 3月10日(土)

富士山

詳細は



天候が悪い場合は18日(日)になる可能性があります。

【期 日】 2007年3月17日(土) 日帰り

【集 合】 3月17日(土) 7時 JR西八王子駅 南口

【個人装備】 山スキー道具一式、テルモス、ゴーグル、ビーコン、保険証、昼食、クート、スコップ(男性のみ)

【共同装備】 ツェルト、プローブ(高畠)

【行動予定】 雪の状態でゲレンデを決めます

富士スバルライン5合目近く「御庭」上部(約2,240m~2,900m辺りまで)

富士スカイライン側より宝永山およびニツ塚山辺りまで

【担 当】 高畠 携帯 090-5209-9564

自宅 042-665-9568・0426-63-3773(FAX)

雪が少ない場合は板を背負う場合もありますので、取り付け可能なザック。

クート必携

時間があれば日帰り温泉入浴あり。

申込みは3月の例会まで

乙妻山

詳細は



歩きは長いがその後には広大な斜面が待っています。

【日程】: 3月24日(土)~25日(日)前夜発

【集合】: 参加者決定後、通知します。

【宿泊】: 黒姫倶楽部

【個人装備】: 山スキー装備一式、テルモス、水筒、サングラスまたはゴーグル、ビーコン、スコップ、
23日の朝食と昼食(行動食)

【共同装備】: ツェルト、コッヘル(小)、コンロ

【地図】:(2万5千分の1)高妻山、(信濃柏原) 黒姫山の地図、あれば尚可

以下、4月予定ですが案内のあるものです。

守門岳

詳細は



東洋一といわれる雪庇を見に、そして読図の実証。

【日程】: 3月31日(土)~4月1日(日)

場所 新潟県魚沼市

宿泊 「小西屋」(予定)(定員10名)

集合 4月1日午後5時10分 上越線「小出駅」

解散 4月2日午後5時小出駅(予定)

参加費 調査中

行程 宿 二分 保久礼小屋 きびたき小屋 大岳(守門岳) 中津又經由 保久礼小屋 二分(雪、
天気等により、往路を帰ることもあります)

申込み・締切り

2月末日までにお申込みください。定員になり次第締め切ります。

個人装備 山スキー用具一式 ビーコン スコップ テルモス 防寒具 保険証

共同装備 ツェルト コンロ コッフェル

地図 2万5千(栃堀)

行事担当 長部 TEL/FAX 03-3463-1041

八甲田山

詳細は



4月の暖かい日差しの中で、春の八甲田を滑ります。

日程：4月13日(金)～15日(日)(JALのスキーツアーに申し込み予定。)

宿はホテル城ヶ倉、または酸ヶ湯温泉

費用；4万～5万円(?) (交通費、宿代込み)

4月のパンフレットがまだ出ていないので、費用まだよくわからず。

なお、JALのスキーツアーがとれない場合は、ツアーではなく、個人で酸ヶ湯温泉に申し込み、ガイドツアーに切り替えます。

申し込み締め切り：2月末。

担当：堀内 e-mail: byp03402@nifty.com

電話：03-3467-6050、携帯:090-8313-0773

その他

東京スキー協山スキー教室

東京スキー協2007 山スキー教室開催日程

2/24(土)～ 2/25(日)	湯の丸高原 長野	入門。スキー場のすぐ上が粉雪の高原。シール着脱・登高、樹林滑降など山スキーのエッセンスが豊富	ロッチ花紋 16,000円	
3/17(土)～ 3/18(日)	柵池高原 長野	入門。ロープウェイで柵池自然園へ、シール登高1時間で天狗原。白馬連峰をバックに	ペンション・コムパス 15,000円	
4/7(土)～ 4/8(日)	かぐら 新潟	入門。ゲレンデで基礎滑降、シール着脱・登高など、スキー場から稜線など自然のままの雪山を楽しむ	彦新 15,000円	
5/3(日)～ 5/5(水)	尾瀬・至仏山 群馬	尾瀬ヶ原を眼下に、山頂から。	山の鼻 23,000円	
5/3(日)～ 5/6(木)	八甲田山 青森	南・北八甲田山のバリエーション豊富な広大な山域を春スキーの決定版。山スキーの入門にも最適	猿倉温泉(猿倉荘) 50,000円	
5/25(金)～ 5/27(日)	立山・剣沢 富山	北アルプス3000メートル級の雄大な斜面の大滑降は爽快感満点。温泉につかり星空を眺めて気分は極楽	地獄谷温泉(雷鳥荘) 29,000円	

問合せは、東京スキー協 03-3971-4144へ

全国スキー協山スキー部関係行事

3/17- 3/18	神楽峰周辺	関越ブロック 山スキー交流会	かぐら 和田小屋 11,000円	
3/24- 3/25	岩手八幡平	東北山スキー交流会 百名山の一つ岩手山であるが名の通り峰ではないが山スキーには適した高原である。	岩手八幡平 10,000円(予定)	
5/12- 5/13	針ノ木雪渓 大滑降	交流会 日本三大雪渓の一つ。アルペンルート of 扇沢口の南に位置する。大滑降が期待できる。	針ノ木雪渓 宿舎:調整中 10,000円(予定)	

問合せは、全国スキー協 03-3971-4145へ

行事報告

立山初滑り報告

山域 立山雷鳥沢・山崎カール一の越
日程 2006,11,23(木)~26(日)
参加者 L二階堂、SL吉原、堀内、横山、川崎(現地参加)、三宅(個人参加)
交通 マイカー(二階堂)、立山黒部アルペンルート
宿泊 七倉荘(大町)、雷鳥荘(立山)
行程

11/23(木) 20:00 京王線聖蹟桜ヶ丘 国立府中 豊科 23:10 大町・七倉荘(泊)
11/24(金) 7:00 七倉荘 7:30 扇沢 8:30 10:00 室堂 11:00 雷鳥荘
12:00 雷鳥荘 13:30 雷鳥沢 2530m地点 13:50 14:10 雷鳥平 15:00 雷鳥荘(泊)
11/25(土) 9:15 雷鳥荘 10:40 一の越下 2630m地点 11:00 山崎カール 12:00 山崎
カール蠟燭岩下 2800m地点 12:25 滑降開始 12:45 山崎カール下部 2400m地点 13:00
13:10 雷鳥平 14:00 雷鳥荘(泊)
11/26(日) 8:05 雷鳥荘 8:35 室堂 8:50 10:00 一の越下 2650m地点 10:20 一の越
10:30 11:10 室堂 11:30 13:15 扇沢

山行概要

例年 11月30日 で営業を終える立山黒部アルペンルートを利用して、この時期に入る立山はパウダールの魅力にとりつかれた者にとって絶好のフィールドであり、黒姫、ニセコに次いでクラブにとって年内の恒例行事になりつつあるか。

11/23(木)

20:00 聖蹟桜ヶ丘集合、パウダールの初滑りに思いを馳せつつ勇躍出発。中央道途中で雨になるも間もなく止み、23:10 大町の七倉荘着。遅い時刻だが入浴できたのはありがたい。

11/24(金)曇り

宿で朝食を取りゆっくり出発、扇沢 8:30 始発のトロリーに乗車。途中から晴天となり、ダムから見る黒部源流の山々や、黒部平からの立山、針の木、遠く鹿島槍等の眺めが素晴らしい。

室堂に着くと、前日別ルートから入っていた川崎さんが出迎えてくれた。貴重な時間をと恐縮したところ、なんと連日の好天でガリガリのアイスバーンでさっぱり面白くないのだと言う。いかに交通至便だとはいえ、室堂から一步足を踏み入れればそこは北アルプス、完全な冬山の世界であり、パウダールを期待しつつも吹雪を覚悟してきた我々に、この時期のアイスバーンは想定外であった。川崎さんの前日の経験によれば、朝はもちろん昼でも3時頃になるとガリガリになって手に負えないという。天気は好いが気温は低いのである。

室堂で表に出るとピーカン、後方の室堂山、眼前の立山から奥大日岳の稜線へとバッチリだ。しかし雪面は硬く、雷鳥荘までのルートは昼近くなってもさっぱり緩まず、荷物を背負ってのミクリガ池付近の通過は結構きつい。

雷鳥荘で昼食後、川崎さんの案内で雷鳥沢に向かう。雷鳥平へ下る通称ゲレンデもカリカリのアイスバーンで、小回りターンで慎重に下る。登りは雷鳥沢の沢芯の左側にルートをとったが、何日か前に雨が降ったのか、いたるところ縦縞状のアイスバーンで、滑りにくそうである。登り始めて1時間もすると疲れが出たのか横山さんが遅れ始め、同行するのが困難になったので、時刻は早かったが2500m付近までで下ることにする。人気のコースだけあって、大勢のスキーヤーやボーダーで大賑わいだが、既にほとんどの人が下りに入っていた。

下りは登ってきたルートを避け、少しトラバースして条件の良さそうな斜面を選んで滑る。雪は少し固めだが、表面はザラ目に近く気持ちよく滑り、あっという間に登り口の雷鳥平に着く。川崎さんのアドバイスが大いに役に立った。テントの数は天気の良いのにひときりよりずっと少なくなったようだ。

宿に戻るやラウンジに飛び込み生ビールでカンパイ。堀内さんがビールは風呂に入る前がうまいという珍説を披露。ここで現地合流する予定の三宅さんとめでたくドッキング。川崎さんとは前

夜同室だったとのこと。意気投合して一緒に飲み、お互いに「明日は仲間が来る」と話し合ったそう。ところが、2人ともその仲間は「悪い仲間だ」ということを説明しなかったので、相手の言う仲間というのが我々のことだとは、お互いにこの時まで知らなかった。

新装成った露天風呂から、目の前の立山や峻険な奥大日岳の眺めをゆっくり楽しんで、部屋に戻ったら再度の乾杯。三宅さんがわざわざ背負ってきた新政はベリイグッド。夕食で3回目の乾杯、川崎さんから日本酒の差し入れもあり、全員集合で大いに盛り上がった。スキー協グループで来ていた坂井さんも顔を出す。

雷鳥沢のコンディションはイマイチだったけど、三宅さんが行った山崎カールはとても良かったというので、翌日は山崎カールに行くことに決定。

11/25(土) 晴れ。

相変わらずの晴天である。朝食後、富山回りで帰る川崎さんとは宿で別れ、少しでも雪が緩んでからと、9時過ぎにゆっくり出発する。雪質は硬いが悪くは無い。

山崎カールへは雷鳥平から直接入るより、一の越の中腹から行く方が楽だとの三宅さんのアドバイスで、三宅さんの案内で一の越方面へ向かう。スノウシュー体験ツアーと思しき中高年のグループが多い。一の越手前の2620m付近のちょっとした台地でシールをはずす。快晴無風だ。おびただしい数のスキーヤー、ボーダーにスノウシューグループであふれんばかりだ。

ここから山崎カールは見えないが、広い斜面をトラバースしてカールを目指す。三宅さんから、板を滑らせながら高度は落とさないという有用なテクニックの教授を受ける。力はあまり使わないが、やってみるとスピードに結構個人差が出る。20分程で目指す山崎カールの右側中ほどにたどり着く。上は逆光に輝く立山の稜線、下ははるか彼方の雷鳥平に張ったテントが豆粒のように見える。そして目の前にはノートラックの広大な斜面が広がっている。同じ山域でありながら、太陽光線の関係でこんなに雪質が大きく違うとは驚きだ。

雷鳥沢は銀座の賑わいなのに、こんな広いところに数グループしか入っていない。雪質は少し固めだが、シールをきかせて気持ち良く高度を稼ぐ。斜面は上に行くほどきつくなるので、先行グループも最後まで直登はせず右側の稜線を目指す。

我々は斜度がぐんときつくなるローソク岩下2800m付近から滑ることにした。立山の最高峰大汝山や御山の頂上下200m位である。雷鳥平方面から登ってきた10数人の若いグループは、全員テレマーカーである。どこまでも続く紺碧の空、純白の峰々、はるか遠くに富山湾が横たわり、これが11月下旬の立山とは思えない。大パノラマを十分堪能したら、いよいよパウダーの大滑降だ。初滑りでこんな贅沢はそうは無いと思う。

先頭はSAJの指導員の三宅さんで、5年前からテレマーカーにはまっているという。このテレマーカーの滑りがなかなか優雅で惚れ惚れする。続いて吉原、横山、堀内、二階堂の順でそれぞれ思い思いの円弧を描く。何度かに区切って、写真を撮ったりしながら2400m付近まで滑り大休止。

空はどこまでも青く、山はどこまでも白く輝いている。これにビールでもあれば最高だと思うが、これを至福の時と言わないでなんと言うか。先刻御承知とはいえ、ここから先のコンディションは雷鳥沢下部と同じであった。今日一日の喜びを反芻しながら、夜の祝宴がおおいに盛り上がったことは言うまでも無い。

11/26(日) 曇り

最終日は予報どおり少し風が出て天候は崩れだした。今日は半日なので浄土山に行くことになった。いったん室堂に行き、荷物をコインロッカーに預け、身軽になって一の越を目指す。視界はあるものの風が出て気温も下がってきた。1時間ちょっとの登りで一の越と浄土山の間のカールの下2750m付近の小さな祠に着く。ここの上部で昨年春雪崩事故があった。

ここで横山さんが頭痛を訴える。少し休めば大丈夫だとのことなので、無理をせず休むことにする。風を避け祠の横にツェルトをかぶって休む。横山さんの体調も良くないし風も強まってきたので、浄土山は止めてすぐ先の一の越を往復する。一の越は風が強く長居無用、横山さんの体調も回復したのでそのまま室堂を目指して滑る。風にさらされてアイスバーン気味のうえ、いつもは快適な室堂へのトラバースは縦縞状の荒れた斜面で滑りにくいことこの上ない。室堂に着くと風も無くおだやかで、山岳警備員のおばちゃんは「皆さん気を付けて」とか言ってさっさと帰ってしまった。

3日間の初滑りの余韻を胸に、11:30発のバスに乗り込み立山を後にした。帰路は定番の薬師の湯で一浴、近くのそば屋で遅めの昼食を取り、雨の中央道を一路東京目指した。

(二階堂記)

行事報告

12月かぐらスキー報告

日時：12月22日(金)夜出発～12月24日(日)

参加者：陶山、川崎、高島、柴田、杉山、二階堂、近藤、中川、堀内

恒例の黒姫倶楽部クリスマスパーティー付き妙高杉の原スキー行事だが、今回はかぐらスキーに変更。

妙高杉の原スキー場が雪不足でなかなかオープンせず心配していたが、スキーはできなくても、あの快適な黒姫倶楽部に泊まり、冬山ハイキング・温泉巡り等何でもできるから、とにかく行こうと決めていた。直前にどうにか雪が降りスキー場もオープン。やれやれと一安心したところ、21日の夜になり黒姫倶楽部より電話あり、松井さんの奥様が体調を崩され、受け入れ無理との知らせ。一時は中止かと思ったが、せつかく「スキーに行く」モードになっているのに中止はやるせないと思い、急遽、民宿「新兵衛工」に宿を取り、かぐらスキー場に変更。全員に電話をかけた後、どうにか変更を連絡した。

22日夜、高島車：八王子10時集合、陶山車：西国分寺9時集合の2台に分乗し、民宿「新兵衛工」へ。夜中到着し、仮眠。

23日：曇り時々雪。かぐらの駐車場は満杯。ほかのスキー場が雪不足でオープンしていないため、かぐらスキー場へ集中したためだ。リフト券を買うための長い列ができています。リフト券を買うまでに30分ほどかかった。

しかし、ロープウェイで登るとスキー場には雪がしっかりあった。雪質も悪くない。全員で思いきり滑る。昼食：スキー場のレストランは混んでいるので、休憩所で朝買ったおにぎりなどをほおぼる。午後は和田小屋で休憩。私は和田小屋に入るのははじめてだった。夕方になると帰りのスキーヤーでリフトや下りのロープウェイは大混雑。雪不足のため開けていなかった駐車場までの下りのルート、混雑緩和のため開けるといふアナウンスが出る。我々は下りのルートに行くことにした。ブッシュは少し出ていたが、雪はどうかあり、石などもなく、スキーを傷つけることなく降りて来られた

夜は、おきまりの宴会で、楽しく過ごした。

25日：晴れ。今日もスキー場のレストランは混んでいるだろうからと、「新兵衛工」に無理を言って作ってもらった大きなおにぎりを一人1個ずつ持ち、スキー場へ。今日は良い天気だ。夜中に少し雪が



ふったので、雪も良い。午前中、楽しく滑り1時に終了。

「新兵衛工」に戻り、全員、車に分乗して帰路についた。

困った時のかぐら、困った時の「新兵衛工」であった。感謝、感謝。三宅さんから頂いたリフトの割引券を使わせて頂きました。助かりました。ありがとうございました。

写真は会報1月号をご覧ください。

(堀内享子)

行事報告

八甲田深雪滑降報告

(エキスパート組)

07-02/3 大川 淳

クラブ合同ガイドツアー

日 程 2007年1月25日(木)～28日(日)
宿 泊 酸ヶ湯温泉(017-738-6400)
参加者 (7名) 三多摩4名、ランドネ2名、ゲスト1名
L大川、SL二階堂、会計吉原、町田、
ランドネ 岡安、井上、ゲスト 三宅

行 程

1月25日(木)吹雪 モッコ沢コース

今朝到着組4名、揃って全員7名。

酸ヶ湯9時発のバスへ、ロープウェイ山頂は猛吹雪、足慣らしを兼ねてモッコ沢に決まる。

10時発、斜面がよく見えない、フォレストコースの下部に出る。11時ロープウェイ下乗場に。

昼はロープウェイ頂上駅の食堂。

午後は1時から、変則フォレストコース2本。

1月26日(金)曇 箒場平コース

ロープウェイ頂上駅で、ガイドの其田さんより、今日は山越えしようと言われる。箒場平コース。非常食、持参の確認をする。

10時発、晴間が少し出る。まずは、田茂范岳の東大斜面、雪質良好状況で深雪滑降へ。下り切ってシール登行へ。大岳ヒュッテを目指す。大岳ヒュッテは中に入れず。シールを外す。

井戸岳をトラバースして、シュカブラの無いところへ、少し下るとガスが無く、視界が開ける。大斜面が広がっている。

今日は他のグループが見当たらない、我々7名の独り占め状態での深雪の斜面。

ビデオと写真を撮りながら、深雪滑降をエンジョイする。中腹で大休止。

林間は先頭が重い雪のラッセルで大変であった。2時過ぎにバスの待つ箒場平の道路に到着。

1月27日(土)吹雪 強風でロープウェイ運休

猛吹雪の中、リフトで練習。午後、道路・交通機関が乱れ、宿へ遅れて帰着。

1月28日(日)曇・晴 一般ツアーへ参加(貸切ガイドではなく)

午前、変則フォレストコース 大川参加

午後、カモシカコース 井上、大川、岡安、吉原参加

総 括

雪質に恵まれた。今までの箒場平コースでは、モナカ状の悪雪の時が多く、今回初めて新雪状態の斜面に出会えた。積雪が例年の半分とのこと、林間ではいつもより、足元の枝が出ていた。

参加者が10名に達せず、7名に。しかしその分ガイド料金が割高になってもやった方がいいとの要望が強く、結果として、少ない人数での深雪滑降が楽しめた。

ガイドの貸切は土・日は忙しく厳しい時があるとのこと。貸し切るためには、日程を平日へ移行せざるをえないのかも知れない。

近況報告

二階堂耕司

12/23 ~ 12/24 かぐら・みつまた

クラブ行事。新雪滑れて楽しかった。

町田定男

1/6 ~ 1/8 岩鞍

クラブ行事。基礎スキー

勝亦勇一

12/25 ~ 12/27 妙高高原・赤倉温泉スキー場

25、26日は雨天。27日のみ滑る。雪が少なく、人が多く、リフトも食堂も混雑いたしました。

1/5 ~ 1/7 尾瀬岩鞍スキー場(クラブ行事)

5日晴天で快適でした。7日、渋滞で帰り6時間かかる。たいへんでした。

今井哲夫

1/6 ~ 1/8 志賀高原・焼額山スキー場

所沢市民スキーが今シーズンの初滑りとなりました

中川幸子

12/23 ~ 12/24 かぐら・みつまた

クラブ行事に参加。雪も良くて楽しく滑りました。新兵衛の奥さんの特大おにぎりは梅干2つ入って美味しかったです。

二見猛克

12/29 たんばら高原スキー場

初の寒波が来て降雪があり雪の状態はバッチリ。スキーも快適に滑走できました。

川崎 敏

今年は確かに暖冬のように、昨年未やっとオープンできた市内のスキー場の雪が日に日に少なくなって行きます。それでも、今年は家の付近からも見えて、約26km離れた、写真のセイモアスキー場のシーズン券を購入し週三日のペースで通っています。一番高いところが標高約1000m(積雪約1.3m)、下が標高約300mです。野沢温泉へ行くまではここですべての予定です。



高畠近義

12/31 ~ 1/2 尾瀬戸倉スキー場

一人でのんびり滑ってきました。スキー場ガラガラ、疲れました。

12/23 ~ 12/24 かぐら・みつまた

クラブ行事に参加。雪もバッチリ。楽しい初すべりとなりました。

吉原露子

12/14 かぐら

メインゲレンデで足慣らし。

12/21 ~ 12/23 ニセコ・ヒラフ

クラブ行事でしたが、札幌のパウダー好きの知り合いと一緒に滑りました。

1/2 ~ 1/4 志賀高原・焼額山・奥志賀スキー場

ロングコースをいつもノンストップで。

1/6 ~ 1/8 尾瀬岩鞍

久しぶりに講習会に参加しました。

大川 淳

12/18 ~ 12/20 北海道・白銀温泉

リフト一本のスキー場。そして温泉。非常にリッチなスキーでした。中日は富良野スキー場へ行きました。

12/25 ~ 12/30 燕岳

嵐の北アルプス。吹雪の連続でした。

杉山一宏

12/23 ~ 12/24 かぐら・みつまた

12/29 箱根・明神が岳

年末は毎年恒例となっている箱根温泉山行に行きました。バクダン低気圧のため山頂はものすごい風でした。

1/4 高尾山・初詣山行

1/6 ~ 1/8 岩鞍スキー場・講習会

1/6 ~ 9 の岩鞍スキー講習会は3日間みっちり講習ができて良かった。特に最終日の8日は、新雪・深雪講習が良かったです。

荒木正司

12/24 日の出山

金比羅尾根 日の出山 三宝山 梅ヶ谷峠

1/7 天狗岩自然遊歩道

二つ塚峠 満知峠 草花丘陵

金欠で当面スキーに行けず残念！

小村慶子

12/30 ~ 1/2 妙高

1/6 ~ 1/8 妙高

雪不足を心配したが、降雪あり。新雪が滑れた。

12/16 車山高原

格安バスツアー（リフト込み 3900 円）で初練習。

12/23 ~ 12/24 かぐら・みつまた

みんなについていくのに必死。沢山のお手本に囲まれた恵まれた環境に感謝。

1/6 ~ 1/8 尾瀬岩鞍

みっちり基礎講習をしていただき、ありがとうございました。今シーズンの大きな課題といたします ; ; ;

例会、運営委員会、リーダー会議報告

1月例会報告

日時 2007年1月10日(午後7時30分～)

場所 国分寺労政会館

出席者 15名

議題 報告事項

スキー協教程について、今回出された補強DVDに基づき川上会長から解説が行われました。教程改訂後2シーズンを向かえ、今回のDVDは、主に「横滑りの考え方」「体軸の切り替え」「コブ滑走等」についてでした。

行事計画

2月 野沢温泉/八甲田

討議事項

その他

2月の例会は、2月14日です。

国分寺消防署員によります**応急救護(心肺蘇生法を主に)**について。

時間は、7:00からになります。

1月運営委員会報告

日時 2007年1月23日(午後7時30分～)

場所 国分寺労政会館

委員 川上、荒木、吉原、高畠、齊藤、笹木、長部、

委員会概要、報告、議事内容:

2月会報について

2月例会について

企画部

2月 野沢温泉、八甲田

3月 乗鞍岳/かぐら/富士山/乙妻山/
守門岳

会計

入退会について

今月は、変動ありませんでした。

次回運営委員会 2月28日 水曜日(午後7時30分から)

スキー協関係

以下のホームページをご覧ください

東京都勤労者スキー協議会(東京スキー協)

<http://www.cpi-media.co.jp/skikyo/>

スキー協通信掲載箇所

<http://www.cpi-media.co.jp/skikyo/tsusin/tsusin.htm>

全国勤労者スキー協議会(全国スキー協)

<http://www.mmjp.or.jp/wsaj/>

全国勤労者スキー協議会(全国スキー協)山スキー部掲示

<http://okuda0948.sakura.ne.jp/skikyo/light.cgi>



雑記帳

野沢温泉も雪不足。とはいえ野沢にいるときは雪が降り、新雪も。しかし鍋倉山は、春模様。Tシャツでもといいと思うような天気。

林道も、雪とりでダンプが入って思わぬところで除雪が行われていました。

東京スキー協の大会が雪不足で中止となった。雪不足で100人以上の人がコースを

滑ったら危険ということ、山も雪不足で、下枝も隠れず、トラバサミが、注意していかなければ

来月は統一地方選挙、そして7月参議院選挙。「美しい日本」などといっている人がいるが、形容詞だけで中味は？言葉だけですすめ、その結果はどうなっているのか、だれも「汚い」日本がいいなどといわないだろう。

何が狙いか

楽しく生活できる社会を

三多摩山スキークラブ会報(2007.2 166)

発行 川上邦夫

編集 長部保雄

ホームページ編集 大槻 真人

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

発行連絡先

180-0013

武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel/Fax 042-253-7289

2007.2.10 発行

山 行 計 画 書

三多摩山スキークラブ

代表 川上邦夫 TEL 0422-53-7289

「富士山」滑降

- 【期 日】** 2007年3月17日(土) 日帰り
- 【集 合】** 3月17日(土) 7時 JR西八王子駅 南口
- 【個人装備】** 山スキー道具一式、テルモス、ゴーグル、ピーコン、保険証、昼食、クトー、スコップ(男性のみ)
- 【共同装備】** ツェルト、プローブ(高畠)
- 【行動予定】** 雪の状態でゲレンデを決めます
 富士スバルライン5合目近く「御庭」上部(約2,240m~2,900m辺りまで)
 富士スカイライン側より宝永山および二ツ塚山辺りまで
- 【担 当】** 高畠 携帯 090-5209-9564 自宅 042-665-9568・0426-63-3773(FAX)

雪が少ない場合は板を背負う場合もありますので、取り付け可能なザック。

クトー必携

天候が悪い場合は18日(日)になる可能性があります。

時間があれば日帰り温泉入浴あり。

申込みは3月の例会まで

【参加者】

番号	担当	名 前	住 所	連絡先	携 帯
1	L	高畠 近義			
2					
3					
4					

【所属団体】 日本勤労者山岳連盟(新宿区新小川町5-24 TEL03-3260-6331 FAX03-3235-4324)
 全国区勤労者スキー協議会(豊島区東池袋2-39-2 大住ビル4F TEL03-3971-4145)

「富士山」参加申込書

2007年 月 日

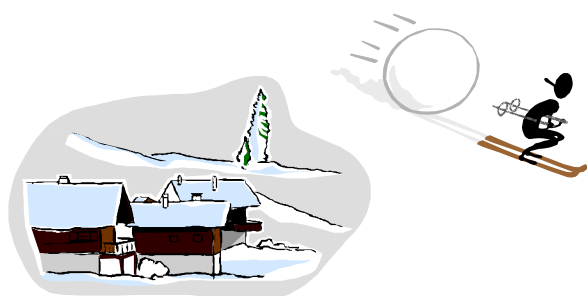
表記の件、下記により参加を申し込みます。

氏名		生年月日	19 年 月 日生 才
住所			連絡先()
備考			

2007年3月 山行案内

乗鞍高原温泉スキー場から乗鞍岳 初心者入門 山スキーツアー

今年から3月オープンの位原小屋に1泊してのんびり山スキーを行います



【期 日】 2007年3月17日(土)～18日(日) 土曜発 山小屋泊まり

【集 合】 2007/3/17 西国分寺 朝7時 集合

【個人装備】 アウター上下(ゴアテックス同等品・透湿防水防風性能のあるもの)、シャツ(中間着)、ズボン、下着上下(山用の濡れても暖かく速乾性のもの)、靴下2枚、手袋(スベア手袋も)、兼用靴、スキースtock(リングは大、リング小は取り替える)、スキー板、シール、スキーアイゼン、ゴーグル、ザック(スキーを取り付けることのできるもの)、帽子(耳まで隠れるもの)、テルモス、ヘッドライト、チリ紙、シュリング4本 カラビナ2枚 行動食2日分、筆記具、ライター、計画書、1/25000 地形図(乗鞍岳)(防水加工、行動中に見ることができる様に工夫する)健康保険証、持病の薬、笛、ナイフ、シャベル、プローブ、ビーコン、携帯電話、洗面具、着替え

【共同装備】 補助ロープ(30m)、アマチュア無線機(陶山)
ガス、コッヘル、朝食用汁物・水、ガムテープまたは固定テーピングテープ(同行者)

【行動予定】 17日 集合場所より中央高速を經由して乗鞍高原温泉スキー場へ、
スキー場のリフト終点(2時間)から位ヶ原、位原小屋へ
18日 位原小屋より(1時間40分)肩の小屋へ登り、肩の小屋(滑降40分)、位ヶ原(滑降40分)乗鞍高原温泉スキー場へ下るコース。 *気象条件がよければ乗鞍岳へ
山小屋は2食付きです。布団もあります。位原小屋管理人 六辻(ムツジ)さん 090-9001-7362
天候が思わしくない場合や、雪崩の危険性が高い場合は無理をしません
車は陶山車(ステップワゴン)他に乗車になります。

【申し込みは】 陶山まで 連絡先 042-366-2287(FAX兼) 090-1817-1432

Mail: N0294893@aol.com

締め切り 3月10日(土)

「乗鞍岳」参加申込書

2007年 月 日

表記の件、下記により参加を申し込みます。

氏名		生年月日	19 年 月 日生 才
住所			連絡先()
備考			

乙妻山 山スキー

歩きは長いがその後には広大な斜面が待っています。

【日程】: 3月24日(土)~25日(日)前夜発

23日 深夜 黒姫倶楽部着 仮眠

24日 早朝 大橋より出発 佐渡山鞍部を経て、乙妻山稜線、
稜線より斜面を滑降し、来た道を戻る(行程9~10時間)

25日 午前中ゲレンデスキーまたは条件良ければ黒姫山山スキー、
午後帰京

【集合】: 参加者決定後、通知します。

【宿泊】: 黒姫倶楽部

【個人装備】: 山スキー装備一式、テルモス、水筒、サングラスまたはゴーグル、ビーコン、スコップ、
23日の朝食と昼食(行動食)

【共同装備】: ツェルト、コッヘル(小)、コンロ

【地図】:(2万5千分の1)高妻山、(信濃柏原) 黒姫山の地図、あれば尚可

- * 車提供者がいることが必須条件
- * メンバー、天候、雪の状態によりコース変更もあり。
- * 乙妻山には行かないがゲレンデスキーだけしたいと言う人も参加可能。

担当: 堀内 e-mail: byp03402@nifty.com

電話: 03-3467-6050、携帯:090-8313-0773

八甲田山 山スキー

4月の暖かい日差しの中で、春の八甲田を滑ります。

日程: 4月13日(金)~15日(日)

JALのスキーツアーに申し込み予定。

宿はホテル城ヶ倉、または酸ヶ湯温泉

費用: 4万~5万円(?) (交通費、宿代混み)

4月のパンフレットがまだ出ていないので、費用まだよくわからず。

なお、JALのスキーツアーがとれない場合は、ツアーではなく、個人で酸ヶ湯温泉に申し込み、ガイドツアーに切り替えます。

申し込み締め切り: 2月末。

担当: 堀内 e-mail: byp03402@nifty.com

電話: 03-3467-6050、携帯:090-8313-0773

「乙妻山 八甲田山」参加申込書

2007年 月 日

行事「 」に、下記により参加を申し込みます。

氏名		生年月日	19 年 月 日生 才
住所	連絡先()		
備考			

守門岳山スキー案内

三多摩山スキークラブ

- 1、日時：07年3月31日(土)～4月1日(日)
- 2、目的：守門(大岳)岳へ、東洋一といわれる雪庇を見に、そして読図の実証。山スキー
- 3、場所：新潟県魚沼市
守門岳
- 4、宿泊所：「小西屋」(予定)(定員10名)
新潟県魚沼市須原932(TEL 025-797-2134)
- 5、集合場所：JR小出駅(上越線)前 午後17時05分集合(車の方は、宿へ)
- 6、日程
3/31日(土) 小出駅集合、宿へ、ミーティング、交流会。
4/1日(日) 宿 二分 保久礼小屋 きびたき小屋 大岳(守門岳) 中津又経由 保久礼小屋 二分...小出(雪、天気等により、往路を帰ることもあります)
- 7、解散：4月1日午後5時小出駅(予定)
- 8、持ち物
山スキー一式(スキー、シール、クトー、ストック、スキー靴)、帽子、手袋、日焼け止め、ゴーグル、テルモス、コンパス、地図(2万5千分の1、栃堀、穴沢、光明山、守門岳)、健康保険証、以下お持ちの方は、シャベル、ビーコン、ゾンデ棒、GPS、高度計等
共同装備は、参加者に連絡します。
- 9、費用
宿泊代...1泊2食(8000円)?
交通費...各自
- 10、参加者

役割	名前	住所	電話
L	長部保雄	目黒区青葉台3-9-14	03-3463-1041
SL			

- 11、参加希望者は、3月の例会に参加して下さい。または、メールで連絡をください。
- 12、締め切りは、2月末日

.....

「守門岳山スキー」参加申込書

2007年 月 日

表記の件、下記により参加を申し込みます。

氏名		生年月日	19 年 月 日生 才
住所			連絡先()
参加経路	J R 車 他 (
その他			